

本院ならびに共同研究施設で髄芽腫の治療を受けられた

患者さん・ご家族の皆様へ

～手術時(2000年4月1日から2017年3月31日まで) に摘出された癌組織の医学研究への使用のお願い～

髄芽腫における Gli3 発現の臨床的意義検討

【研究の目的について】

髄芽腫は小児の小脳に好発する悪性腫瘍です。これまで、髄芽腫の予後予測にはPackerの分類（3歳未満、転移あり、術後残存病変が1.5 cm²以上のうち、ひとつでも有するものを高リスク、それ以外を標準リスクとする）が用いられ、治療の強さが決定されてきました。最近では、遺伝子解析の技術が進歩し髄芽腫が分子学的に異なる4群に分類されることが証明され（これをMAGIC分類といいます）、髄芽腫が形成される過程でウイングレス伝達系やソニックヘッジホッグ伝達系と呼ばれる刺激伝達経路が重要な役割を果たすことが明らかになってきました。本研究の研究者らは、ソニックヘッジホッグ伝達系を調節する分子の一つであるGli3に着目した髄芽腫の研究を行い、Gli3の働きによって髄芽腫を構成する未熟な細胞が神経細胞やグリア細胞へ成熟すること、Gli3によって神経細胞への成熟傾向を示す髄芽腫が予後良好である可能性を示しました（宮原ら、*Neuropathology*、2014年）。

本研究では、全国の賛同を得られた医療研究施設から髄芽腫の症例を集めて、本研究の研究者らが過去の研究で得た知見を再検証します。具体的には、①髄芽腫におけるGli3の発現と患者さんの予後との関連、②Gli3が髄芽腫の治療戦略を決定するうえでの指標となりうるか、③MAGIC分類におけるGli3の位置づけ、を明らかにして、将来的にはGli3が髄芽腫の予後予測や分子標的療法に用いられることを目指しています。

【使用させていただく組織（試料）等について】

本院ならびに共同研究施設におきまして、既に髄芽腫の治療を受けられた患者さんの腫瘍組織（試料）を医学研究へ応用させていただきたいと思っております。その際、腫瘍組織を調べた結果と診療情報（例えば治療効果がどうであったかなど）との関連性を調べるために、患者さんの診療記録（カルテやレントゲン写真など）を調べさせていただくこともあります。なお患者さんの腫瘍組織（試料）及び診療記録（カルテ）を使用させていただきますことは当院臨床研究倫理委員会において審査され承認されています。また、患者さんの試料および診療情報は、国の定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従い、匿名化したうえで管理しますので、患者さんのプラ

イバシーは厳密に守られます。当然のことながら、個人情報保護法などの法律を遵守いたします。

【使用させていただく組織（試料）の保存等について】

腫瘍組織（試料）の保存は論文発表後5年間を基本としており、保存期間終了後は、腫瘍組織（試料）を焼却処分します。ただし、研究の進展によってさらなる研究の必要性が生じた場合は5年間を超えて保存させていただきます。また、患者さんの診療情報については、論文発表後10年間保存し、保存期間終了後はデータが復元できない処理を施した上で廃棄します。

【患者さんの費用負担等について】

本研究を実施するに当たって、患者さんの費用負担はありません。また、本研究の成果が将来薬物などの開発につながり、利益が生まれる可能性があります。万一、利益が生まれた場合、患者さんにはそれを請求することはできません。

【研究資金】

本研究においては、公的な資金である大分大学医学部小児科学講座の基盤研究経費ならびに寄付金を用いて研究が行われ、患者さんの費用負担はありません。

【利益相反について】

この研究は、上記の公的な資金を用いて行われ、特定の企業からの資金は一切使いません。「利益相反」とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人の間を含みますが、本研究ではこの「利益相反（資金提供者の意向が研究に影響すること）は発生しません。

【研究の参加等について】

本研究へ腫瘍組織（試料）を提供するかしないかは患者さんご自身の自由です。従いまして、本研究に腫瘍組織（試料）を使用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、患者さんの腫瘍組織（試料）は研究対象から除外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。

患者さんの腫瘍組織を使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問などがありましたら、主治医または以下の研究責任者までお申し出下さい。

【研究全体の実施体制】

【研究組織】

	所属・職名	氏名
研究責任者	大分大学小児科学講座 講師	宮原 弘明
研究分担者	大分大学小児科 大分こども急性救急疾患学 部門医療・研究事業 教授	末延 聡一
	大分大学小児科学講座 助教	平野 直樹
研究協力者	大阪市立総合医療センター 小児血液腫瘍科	原 純一
	〃	岡田 恵子
	〃	山崎 夏維
	大阪大学脳神経外科	香川 尚己
	金沢医科大学小児科	犀川 太
	岐阜大学小児病態学講座 併任講師	小関 道夫
	九州大学病院小児科学講座	古賀 友紀
	高知大学小児科	久川 浩章
	佐賀大学小児科学講座	西 眞範
	滋賀医科大学小児科学講座	多賀 崇
	自治医科大学脳神経外科学講座	五味 玲
	筑波大学医学医療系小児科学講座	福島 敬
	筑波大学付属病院脳神経外科	山本 哲哉
	千葉県がんセンター脳神経外科	井内 俊彦
	徳島大学小児科学講座	渡辺 浩良
	独協医科大学小児科学講座	佐藤 雄也
	独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター再生医療研究室	金村 米博
	東京女子医科大学小児科学講座 准教授	鶴田 敏久
	東京大学小児科学講座 准教授	滝田 順子
	名古屋市立大学大学院医学研究科 新生児・小児医学分野	伊藤 康彦 亀井 美智
	名古屋大学大学院医学系研究科小児科学	村松 秀城
	新潟大学脳研究所病理学講座 教授	柿田 明美
	新潟大学脳研究所脳神経外科 教授	藤井 幸彦
	〃 特任准教授	吉村 淳一

〃	助教	棗田 学
日本医科大学千葉北総病院小児科		浅野 健
兵庫県立こども病院 血液・腫瘍内科		長谷川 大一郎

【研究責任者】

534-0027 大阪府大阪市都島区都島本通2-13-22

大阪市立総合医療センター 小児血液腫瘍科 医長 山崎夏維（やまさき かい）

電話番号 06-6929-1221

【研究代表者】

879-5593大分県由布市挾間町医大ヶ丘1-1

大分大学医学部 小児科学講座 講師 宮原弘明（みやはらひろあき）

電話番号 097-586-5833